

国会議員 各位

東京大学大学院 工学系研究科

池上 孝則

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL/FAX : :03-5841-6473

E-mail : ikegami@hearful-runners.co.jp

議員定数問題に関連するアンケートのお願い

池上と申します。

当方が開発した仮想測定系システム（国際特許）に基づいてマラソンの記録の公平な評価値である「フェアタイム」を Web サイト「ハートフルランナーズ」を通じて提供している他、得点の公平な評価値である「フェアスコア」や公平な選挙制度である「フェアクォータ」等の研究も進めており、科学という切り口で「フェア（公平・公正）」、「クール（冷静・反骨）」、「ハートフル（共存共栄）」な社会の実現を目指して活動いたしております。

私の研究及び活動に関しましては、下記の Web サイトをご参照下さい。

◆Web サイト「ハートフルランナーズ」… URL : <http://www.heartful-runners.co.jp>

※キーワード : 「フェアタイム」、「ハートフルランナーズ」

◆Web サイト「市民マラソンフォーラム」… URL : <http://marathon-forum.jp>

※キーワード : 「マラソンフォーラム」、「市民マラソンフォーラム」

全ての国会議員の皆様に対し、議員定数の問題に関連した以下の2つの質問をさせていただきます。大変、お手数をおかけいたしますが、今後の我が国のあり方を考える上で重要な意味を持つアンケートですので、ご回答の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、回答には同封した FAX 送信状をご活用下さい。

また、アンケートの結果は、上記の「ハートフルランナーズ」の Web サイトで公開させていただきます。

☆☆☆☆ 議員定数問題に関連するアンケート ☆☆☆☆

※添付した「設問図」をご参照の上、以下の2つの質問のご回答をお願い申し上げます。

■質問1

黄色で示した平面状の基礎に4本の鉄筋コンクリート造の柱を敷設して青色で示した人工の基礎を支え、その上に家を建てて住むことになりました。

ここに、地形の制限により柱を敷設する位置は変えることができませんが、柱の太さは任意に設計することができます。その際、柱に使用する鉄筋及びコンクリートの総量は一定とし、柱の太さの違いに伴うコストの総額の増減はないものとします。

この条件の下で、【A案】と【B案】の二つのデザインを考えました。

【A案】は、4本の柱がすべて同じ大きさです。

一方【B案】は、左側の3本の柱を若干細くし、その分、右側の一本の柱を太くしてあります。

確認ですが、【A案】と【B案】の4本の柱の鉄筋及びコンクリートの総量も、柱の敷設に要するコストも同一とします。

もし皆さんがどちらかの家に住むとしたら、どちらの案の家に住みますか。

■質問2

実は、この「設問図」は「間接民主制の下で法治主義を採用する国家の社会構造」を暗示しています。

すなわち、黄色で示した「基礎」は「国土」を、「柱」は「国民」を、青色で示した「人工の基礎」は「国民の代表によって制定された法律」を、「家」は「国民の生命・財産」を表しています。

そして、3本の柱がある「基礎の左側」は国土の中で「人口密集地域」に、1本の柱しかない「基礎の右側」は「過疎地域」に対応しており、「柱の太さ」は「国民一人当たりの一票の重み」を表しています。

つまり、【A案】は「一票の価値が平等である場合の社会構造」を、【B案】は「一票の価値に差を設けた場合の社会構造」を表しているということです。

さて、質問です。皆さんはこのアナロジーに同意できますか。

【1】: 同意できないこともない

【2】: 全く同意できない

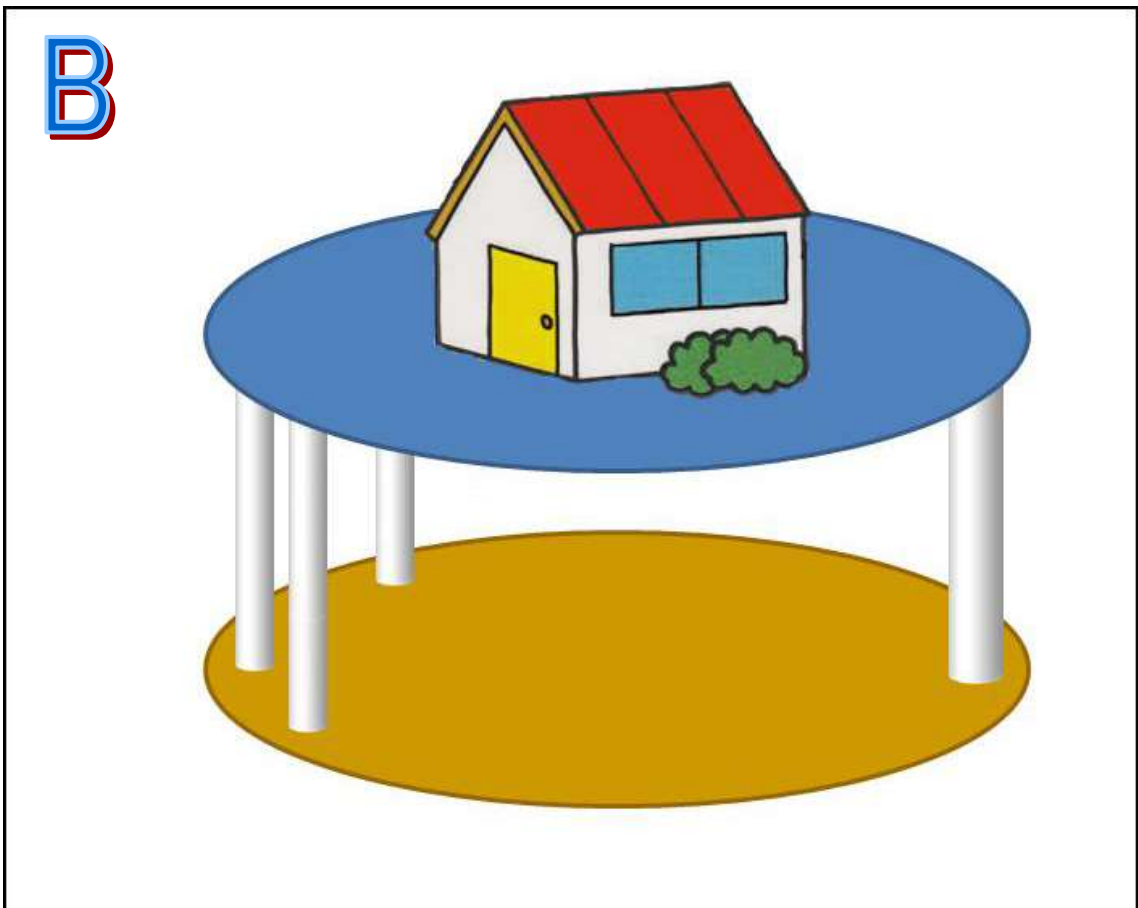
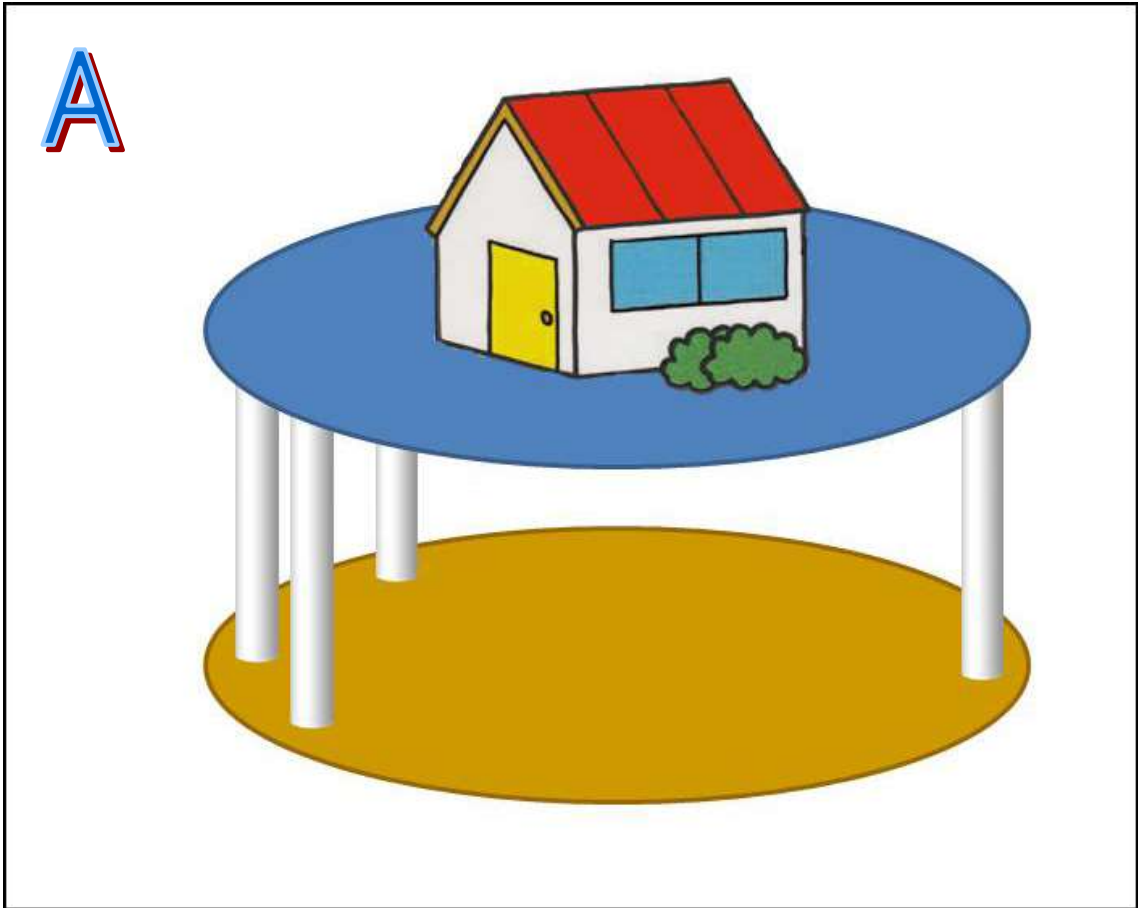
質問の表現を変えるならば、

【1】: 議員定数問題の本質に迫るおもしろいアナロジーだ

【2】: 議員定数問題を歪曲するナンセンスなアナロジーだ
ということです。

ご協力、ありがとうございました m(_ _)m

設問図



FAX 送付状

送信日 : 平成 年 月 日

送信先

東京大学大学院 工学系研究科

池上 孝則

TEL : 03-5841-6471

FAX : 03-5841-6473

Email : ikegami@heartful-runners.co.jp

発信元

TEL :

FAX :

E-mail :

件名 : 議員定数問題に関するアンケート

◆質問1 の回答 (A 案、B 案のいずれかに○印をつけて下さい)

A 案 B 案

◆質問2 の回答 (1、2 のいずれかに○印をつけて下さい)

1 2

◆その他 (当該アンケートに対するご意見や当方の研究に対するご質問など、何でも結構です)